

嶋谷市左衛門小笠原諸島巡検350周年記念事業 第2回 事業部会 会議概要

- 1 日時 令和7年3月25日（火）
- 2 会場 父島小笠原村役場会議室 延島委員、織田委員、上原委員
母島支所会議室 宮城委員、小関委員
東京連絡事務所 吉井委員、柏木アドバイザー
- 3 成立した予算の報告 940万円
- 4 顕彰する事業（案）と意見交換（主な意見は赤字）

(1) 正確な歴史認識

※ 柏木先生より：史料が少なく、現状では確定することは難しい。

史料から推定できることを述べるのみ。しかも、史料自体が正しいかも不確かである。

・ 嶋谷が上陸した場所、祠を建てた場所

「嶋谷市左衛門無人嶋へ乗渡覚書」には場所は書かれていない。

〇〇の史料（地図）を見ると、△△ではないかと考えられる、と言うのみ。

部会として、場所の特定はできない。

・ 無人島の読み方・・・「むにんじま」、「むにんしま」、「ぶにんじま」

地名の呼び方については、文献を見てもルビが振られていないため確定が難しい。

口頭で表現するときには「ぶにんじま」と記述している文献が見当たらないことから、「むにんしま」または「むにんじま」と読むのが妥当。

・ ボニンアイランドの由来

林子平が書いた「三国通覧図説」がフランス語に翻訳されたときに「無人」の漢字に Bo-nin の綴りが使われ、そこから Bonin Islands という名称が一般化した。

日本語の「ぶにん」が訛って「ボニン」になったというのは違う。

・ 「嶋谷」か「島谷」か

長崎市の学芸員に、長崎市ではどちらを記述しているか確認する。

→別紙

★その他の懸案事項は、また、次回以降の部会で事実を明らかにしていく。

(2) 講演会の実施

① 講演者案の検討

柏木一朗先生

松尾晋一先生

② 講演会実施回数案の検討

現時点では2名を候補とし、実施回数は2回とする。

③ 講演会実施時期案の検討

柏木一朗先生・・・4月28日

松尾晋一先生・・・9～10月頃

(3) 顕彰碑・解説の設置

① 顕彰碑・解説の大きさ案の検討

今回は未検討

② 顕彰碑・解説の文字案の検討

今後、歴史が塗り替えられるかもしれないので、「小花作助の碑」のように顕彰碑と解説板を分けた方がよい。
文字は石に刻まず、はめ込み式にした方が安価にできるかもしれない。
カラー化し陶板かセラミック板に「地図」を描き、貼り付けたい。
解説板にQRコードを付けたい。
嶋谷の探検が林子平の書いた「三國通覧図説」を通して世界に知られるようになったというメッセージを添えたい。

③ 顕彰碑・解説の設置場所案の検討

人に見てもらえる街中が良い。たとえば「奥村運動場」など。
「小笠原島略記 全」などに記述がある「宮之浜」が良いのではないかな。
インスタ映えするところがあれば、なお良い。

(4) 特別展示の実施

① 展示内容の方針案検討（嶋谷の功績、現在の小笠原村の地域的広がり）

未検討

② 展示場所案の検討

父島・・・ビジターセンターは観光客は来るが地元の人はい少ない。管理はし易い。
福祉センターは地元の人はい多い。

母島・・・村民会館は1週間ずっと展示しているということが難しい。
ロース記念館はスペースが狭くパネルを数枚置くのがやっとなである。
船着待合所は観光客に見てもらうには一番だが、パネルを数枚置くのがやっとなである。

※ 展示場所を検討するにあたっては、展示するものや展示量によって決まる。

※ 小笠原村には実物の古地図があるはずである。それを展示できないかな。

(5) 広報

① 村民だより

② 小笠原村ホームページ

③ 講演会、特別展示、記念碑除幕式等のチラシ

④ 映像

ビジターセンターで上映している映像『小笠原の歴史』21分を学校に貸出できないかな。

⑤ 小冊子、パンフレット

松尾龍之介氏が日本文教出版（教科書会社）の小冊子に寄稿した両面刷のパンフレットがあるが、このような嶋谷を紹介したパンフを松尾晋一先生に執筆していただき、全家庭に配布するなどしたい。（松尾先生が執筆してくださるかが問題）

⑥ 記録作成・・・博物館が作成している図録のようなもの

柏木先生が現在作成を進めてくださっており、今後、ご提供いただく。

⑦ 嶋谷市左衛門ご子孫、式典への招待

子孫の特定を行政がすることは難しい。しかし、近々、宮城委員が岐阜のご子孫に会いに行く予定とのこと。なお、ご子孫が特定できても、先方のご都合と、島民にとって、ご子孫を招待する意義を検討することが必要である。

⑧ 記念グッズ作成（クリアファイル、手拭い、など）

マスコットでもあると有効だがデザインを依頼してもスケジュールが厳しいため不可能。

⑨ 嶋谷事業をふるさと納税の項目として独立、募る。

現在、村で行っているふるさと納税の項目のうち、教育・文化財保全等に寄せられた寄付を嶋谷の事業に使わせてもらえるよう担当課に依頼する。

5 今後のスケジュールの検討

柏木先生来島（4/26～29） 4月28日（月）16:30～ 事業部会開催